



指導員訪問③ 1年 国語科「おおきなかぶ」 安藤 義孝 教諭

ひらがなを習い、どんどん文字を読む喜びを感じる1年生。音読も校舎の外まで聞こえます。読み物への関心が高まったところで、安藤教諭は、読み取り、理解、登場人物の行動の理由を想像できるようにしたいとこの『おおきなかぶ』を取り



おおきなかぶ  
 おじいさんが、かぶのたねをまきました。  
 「あまい あまい かぶに なれ、  
 おおきな おおきな かぶに なれ、  
 あまい げんきの よい、どてつもなく  
 おおきいかぶが できました。」

上げました。本時では、ICTを活用しておじいさんが犬を呼んだ理由を具体的に想像する姿があったかどうかです。



まず、扱う場面を音読したあと、吹き出しにおじいさんの思いを書き込みました。吹き出しの①大小で思いの強弱、②色分けで黄＝

頑張ろう、青＝悔しい、

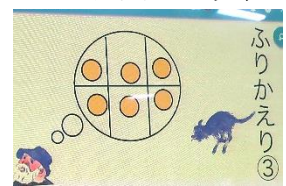
＜授業記録より一部抜粋、編集＞

- T 1：吹き出し、何って書いたか教えて。
- C 1：まだ抜けないな、よし犬を呼ぼう。  
－＜略＞－
- C 6：3人なら抜けたらと思ったのに。
- C 7：おばあさんと孫を呼んできたのに抜けないのー。ちょっとやめるかのー。でも、甘いかぶをみんなで食べたいからのー。そうだ犬を呼ぼう。
- T 8：途中でちょっとやめようか、何色？
- C 9（多くの声）：青
- T 10：甘いかぶみんなで食べたいって、何色の気持ちだろうか？
- C 11（多くの声）：黄色
- C 12：孫が犬を呼んでも、犬は引っ張れないから無理かもしれない。
- C 13：こんどはどうしよう。
- C 14：4人でやってできるかなあ。
- C 15：3人で抜けなかったから4人でも抜けないのかな。  
－＜略＞－
- T 18：どれだけの人数で引っ張った？
- C 19（多くの声）：4人  
－＜略＞－
- T 32：この犬強そう？（教科書を見て）
- C 33（多くの声）：かむ力が強い！
- T 34：もし他に人がいたら、犬呼ぶ？
- C 35（様々な声）：犬を呼ぶ。人でも抜かんかったら犬を呼ぶ。



緑＝どちらでも、と視覚的に表現。さらにスクールタクトを活用してチームで、全体で共有を図りました。

考えを取り上げ、「人数」「犬」の視点で板書しながら、●Tで揺さぶりました。多くの子がここまでおじいさんの気持ちを見直しました。振り返りで、心の内を6コマに黄・緑・青を入れて表現して前時と比較、再共有です。



協議会では、ICTで個々の変容を知る容易さ、仲間との共有の難しさ、T32の是非、国語の授業でのタブレットを活用する意味・意義について意見交換。指導員から、①範読で間をとる大切さ、②再度本文に戻り確認、③スクールタクトで色分けした有効性、④ICT使用判断、⑤個へ必ず自分の考えを明確に、など子供の姿から教えていただきました。



私なら●T「犬って必要？」と問いかけますが、みなさんなら？実は左のC7は振り返りで黄②、緑①、青③と揺れ動き、「あきらめてない！」と。それは、T10「甘いかぶを…」C11「黄色」で「みんなで食べたい」に迫ったからですね。